

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 機能別消防団員拡充による「個別避難計画」に基づく要配慮者避難支援訓練

自治体名

草津市

消防団名

草津市消防団

1 事業の目的

災害時の避難支援に特化した機能別団員(災害時支援団員)が、個別避難計画における避難支援者となることで、避難支援者の特定が困難なケースの計画策定を促進し、地域の共助力向上を図る。

2 事業内容

災害時支援団員の制度導入に向け、団との合意形成を行い、制度始動に向けた準備を行った。消防団と地域とのつながりが希薄であるという課題から、災害時支援団員の入団候補者は、地域において防災に関して積極的に活動をされている市民の方にアプローチし、消防団と地域とのパイプ役となる人材の確保を進めた。

要支援者避難の支援を行うための人材育成としては、現消防団員と災害時支援団員入団候補者参加のもと、指定福祉避難所における避難支援訓練を実施。また、団員を対象として発達障害を持つ方の特性と、必要とする支援について講師を招き研修会を実施し、訓練の実践と研修による知識の蓄積により、災害時支援団員発足に向け団員の資質向上を図った。

また、団活動に必要な被服や安全装備の整備を行った。

3 事業成果

団幹部会議による議論を重ね、災害時支援団員制度の創設が決定。入団候補者として消防団と地域とのつながりを強固にするため、地域(学区のまちづくり協議会)からの推薦を受けた人材の確保を行った。

要支援者避難訓練についても、消防団員だけでなく、会場である養護学校の職員や、消防、災害協定を締結している事業者等の他機関と連携して実施することで、災害時の速やかな他機関連携に備えた。

今年度、災害時支援団員発足に向けた体制整備を行ったため、今後は、避難支援者の特定が困難なケースにおいて、災害時支援団員が消防団組織として支援者になり、計画策定が促進されるよう進めていく。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
団幹部会議	回数	3回	12回	
入団候補者	人数	30人	24人	
避難訓練	回数	14回	1回	

5 その他参考情報

